

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	『認知症だからといって、その人の人格まで失われるわけではない』という利用者、家族、職員の思いが『地域の中で当たり前普通の生活を送る』『どんな時でもその人らしさを大切に』のゆずりはの理念が作り上げられている。		
2	2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	理念が家族や職員、来客の目にとまりやすい玄関に掲示されている。管理者と職員は理念を共有し、日々のサービス提供場面において何気ない日常的な会話や態度に、ごく自然な形で理念が実践されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域の方とは、当たり前のように散歩時など挨拶を交わしたり、畑でとれた野菜を頂いたりしている。さらに学校関係の行事等、地域のイベントには、可能な限り参加して交流に努めている。また、地域の方へ介護保険制度の案内などをおこない貢献している。		地域の方との関わりを増やす為に、気軽に立ち寄れるような行事の開催や、婦人会や老人会と連携して地域の情報発信基地としての役割が今後期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	自己評価は、管理者と職員で取り組み、それぞれが自らの実践を振り返り、気づきの機会となった。外部評価の結果は、会議の議題として、前年度の反省、今年度の目標にしてサービスの見直しに活用している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回開かれる運営推進会議では、自己評価及び外部評価について報告するとともに意見を伺いサービスの向上に繋げている。また、会議で取り上げられた検討事項は、改善にむけて具体的な取り組みに繋げている。		
6	9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在、高齢化が進展している地域の現状を踏まえ、対応策としての共用型デイサービス、ショートステイサービスの設置について煩雑に話し合いをおこなっている。また、地域包括支援センターと成年後見制度の活用について連携している。		利用者の重度化への対応について、市担当者と連携をして、利用者と家族が望む日常生活が送れるように支援することが望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の日々の暮らしぶりや健康状態は、面会時や家族宅を訪問した際に報告している。職員の異動等については、運営推進会議や年2回の家族会において報告している。また、家族会に参加できなかった家族に対して季節の行事等に参加して頂き報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱を設置したり運営推進会議に家族に出席してもらい意見を聞いている。また、家族が来所時や管理者が家族宅に訪問時に意見を聞いているが今年度、不満や苦情は受けていない。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職については、個別にダメージを防ぐ配慮している。場合によっては、離職の理由を利用者に報告し、近隣の職員は退職後も自発的にボランティアとして関わっている。離職を抑えるために職員のストレスへの配慮やモチベーションアップへの配慮を行っている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	実践研修の他に、近隣市の7施設のグループホーム合同研修に参加している。参加職員にアンケート調査をおこなった結果、学習と情報交換の機会となるため今後も開催の希望があり検討している。さらに、介護福祉士、介護支援専門員の資格取得の支援を積極的におこなっている。		職員を育成するために、能力に応じた個別の研修計画をたて研修の機会を確保するとともに、外部研修受講者は、伝達研修を実施し双方のスキルアップが望まれる。さらに、グループホーム合同研修の実施を期待する。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣市のグループホームと会議をおこない合同職員研修を実施したり、同業者の新人研修を担当して新人育成に協力している。また、事業所間で空室状況の連絡をおこない連携をしている。また、合同研修にて職員同士が情報交換をおこないサービスの向上に役立っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事業所を利用するまでに、遊びに来て頂いたり、訪問するなどして本人から困っていること、不安なことを傾聴する機会をつくり、無理なく安心して入居して頂けるようにしている。入居後1ヶ月は、暫定プランにて生活環境に馴染むことを第一にケアをおこなっている。		本人がホームの雰囲気に徐々に馴染めるように数時間とか1日間のお試し期間を設けられることが望まれる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と職員が家族として生活していると捉え、お互いが頼ることのできる関係づくりを目指している。職員は利用者に学ばせて頂き育てられていることに感謝の気持ちを持ち接している。ホーム名『ゆづりは』の由来となっている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望の把握に努めるとともに、本人の意向を把握するのが困難な利用者については、「どんな時でもその人らしさを大切に」という理念のもと、家族と相談しながら、本人の意向を推量している。</p>		
<p>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の生活歴や馴染みの暮らし方、これまでのサービス利用の経過について、ケアマネジャーや家族から情報収集を行い、本人、家族、職員間で意見を出し合あって利用者が望む、または納得できる介護計画の作成に努力している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>病気等で明らかに様子が変わったときなどは全員の意見を集めて暫定的なケアプランを立て、即座に対応し、現状と計画の誤差を早い段階で修正するような取組みがされている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>グループホームの強みである小規模で多機能な部分も生かそうと行政には絶えず働きかけているとともに、地域の介護の受け皿としての入所にたいする介護相談も積極的に行なっている。</p>		<p>共用型デイサービスや空床利用のショートステイなどの使用が可能になれば更に機能が向上する。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医との連携もとれており、利用者の希望があれば他病院への受診も管理者にて行なっており連携の強化に努めている。(協力病院に精神科の専門医をお願いしている)</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用者や家族とはその都度話し合いを行なっているが単独事業所としての限界もある。その際、家族や本人の意見を出来るだけ反映できるように努めている。</p>		<p>家族の意向と行政の見解の相違や、グループホームの役割から現状に限界が見えている。管理者からの働きかけ以外に、行政や特養などの協力が期待される。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>介護記録は事務所で保管されており、居室も個室が確保されておりプライバシーへの配慮が出来ている。個人への働きかけでは、家族の一員に対する接し方を心がけている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ケアプラン作成時に本人の意向を確認し、利用者本位を優先させた取組みをしている。庭で過ごす人、部屋で過ごす人などその人に合わせた対応がされている。</p>		<p>利用者が重度化してきているため安全に対する配慮が望まれる。安全に配慮した時間設定等は仕方がない面があるが、その中で利用者の意向をどれだけ反映できるかを検討していく姿勢が評価できる。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その人の性格や身体機能に応じて役割を持ってもらい、配膳、下善や料理の下ごしらえなどを手伝ってもらっている。その中で役割分担が出来ており食事を楽しむ雰囲気は出来ている。		利用者が主体になって料理に取り組む機会を作る事を期待する。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者が重度化している部分があるが、その中で浴槽への工夫など出来るだけ家庭に近い形での入浴に向けての工夫はされている。たまに近所の外風呂も利用されている。		安全を考慮すると時間を決めて行なう部分は仕方がないが、利用者の意向を反映させるための改善の余地があるという意識は評価できる。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の作品を施設内に飾ってあったり、作品展に出展を行ったりと生きがいに対する支援は行なっている。また、日中の空いた時間に手作業を行なってもらいお手伝いの中から役割を見つけてもらっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	庭は絶えず開放していて出入りは自由だが、利用者の重度化により一定の介助が要する状況になっている。また、希望に応じての外出は行なっているが利用者の状況によっての対応は、やむを得ない面がある。		重度化している状況の中で、どれだけ本人の意向を汲み取って対応できるかを、今後も継続して話し合っていくことが望まれる。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入り口の門以外は施錠は行っていない。利用者が重度化していることもあり安全面での配慮を重視し、その中で極力施錠をしない対応については職員間で討議され、情報として共有されている。		入り口の門の施錠については安全面を考慮しての対応との話があり。今後の方法については定期的に検討して、開錠の可能性も含めて話し合いは続けていくことが望まれる。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	今年度、たつの市が中心となり他の施設との合同対策協議を開催しており、運営推進会議にも協力を働きかけている。行政との話し合いとともに施設でも独自に火災訓練等を行っている。		防災マニュアル等は行政との連携が必要であるが、施設側としてのさらなる働きかけを継続することが期待される。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その人の状況に応じ、おかゆやミキサーなどの食事形態を工夫し支援している。食後のうがいや義歯の洗浄、消毒も行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家改修型でもあり庭にも季節の木や花を植えており、その時に応じた季節感を出している。また、周囲が田園地帯でもあり環境も充実している。利用者の状況によっては、ベッドを布団に変更している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	その人のなじみの品を配置している。民家改修型の施設なので、一般の住宅での生活の雰囲気が出ており、本人の品とも調和出来ている。		

 は、重点項目。

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	当たり前前の生活をごく自然に行っていく。9人の方々が自宅にいると思ってもらえるようになる事を目指す。	個人的な買い物や外食の回数を増やして行きたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	小さなホームだから出来る事をスタッフ一同考え、実践している。	利用者の方々の高齢化に伴い、日々様子が変化してきている。状況の変化に対応できるようにしていきたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族には常日頃より話し合いのなかで理念等は把握していただいている。地域の方々には運営推進会議で伝えている。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々が数回来所され、お茶を一緒に飲んで下さったり、畑でとれた野菜をいただいたりしてお付き合いをさせて頂いている。	ホームでなにか行事を行い、地域の方々に来所して頂けるようにしたいと思う。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	学校関係の行事や、地域のイベントは可能な限り参加している。又、運営推進会議において、自治会の方々にも参加して頂いている。	婦人会、老人会等、交流を作りたいと考えている。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>少数ではあるが、介護保険の申請の案内や、他事業所の申し込みなどの案内をおこなった。また、運営推進会議において、地域のために役立てる事があればと伝えている。</p>		<p>共用型デイサービスの認可所得の要望を市に提出している。グループホームの機能性を活かしていきたいと考えている。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>介護における目標、理想として認識している。毎年行うことによって前年度の反省、本年度の目標を明確にすることができる。</p>		<p>職員会議において、評価の項目を話し合い、介護レベルの向上に役立てていきたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回のペースで運営推進会議をおこなっており、報告や話し合いを常に行っている。又、会議で決定した事項については行動に移している。</p>		<p>会議の内容をもっと明確化して、参加者の方々全員が意見を出してもらえる様に考えていきたい。</p>
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>かなり頻繁に行き来していると思う。担当の方とも意見交換を行い、可能な限り連携していると思う。</p>		<p>日程の都合があれば施設で行う行事に参加して頂きたいと思う。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>家庭裁判所、地域包括支援センターに行き、制度に対し、理解が出来たと思う。</p>		<p>現状2名の方が必要になってきている。地域包括支援センターと協議を行い、進めていきたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待、拘束については、その可能性がある事については厳重に注意を行い、話し合いを行う。しないことは当たり前の認識として浸透している。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	十分な説明は出来ていると思う。	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	個別担当者を設けており、小さな不満、意見等を聴ける体制は出来ていると思う。	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	利用者の方々の報告事項はご家族が来所時に、ほぼ行っている。職員の異動等については、運営推進会議や、年2回の家族会において報告を行っている。	2ヶ月に1回の通信を作り、その中に個別の担当者が利用者の方々の身体の様子や生活を書いてご家族に連絡をおこなうようにする。
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	今年度、苦情、不満等を受けたことはなかった。又、意見については時間があれば個別に自宅訪問を行い、協議、話し合いを行っている。	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	毎月の職員会議、ケアカンファレンスで職員の意見を出せる場を作っている。	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	前年度に対しプラス1名の補充を行い、さまざまなケースに対応できるようにしている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18.	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職の場合、そのケースケースに応じてダメージを最小限に抑えるように方法を考え伝えている。</p>	
5. 人材の育成と支援			
19.	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>実践者研修は職員全員に受けてもらいたいと思う。正職員に関しては、介護福祉士、介護支援専門員の資格を取得するように働きかけていきたい。</p>	<p>施設内の研修を考えていきたい。</p>
20.	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム会議において研修の取り組みを決定し、11月15日に7施設合同で職員研修を行った。その後の出席者のアンケートでは「また開催してほしい」の意見が多く見られた。</p>	<p>研修の機会を周期的に行うようにグループホーム会議にて検討、協議を行っていきたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>有給休暇の取得、指定希望休日を受け入れるなどを行っている。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>賞与における従業員同士の査定を行い、評価の高い上位2名に関しては、プラスの金額が支給され、向上心を持ってもらうように働きかけている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前の事前調査や、ご家族とのコミュニケーションを取るようになっている。他施設に入居している場合は、その施設との連携を計り合同行事を行っている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居に至るまでの間、時間が許されれば会う機会を頻繁に作り、希望、不安などを聞くようになっている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>初期データを作成する為、ご家族との協議や、自分自身の目でご本人を見るようになっている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>新規入居者の方については、暫定のケアプランを作成し、周囲の環境になじむ事を第一と考え、介護を行っている。</p>	<p>入居待ちの方々についても、いきなりの入居ではなく、自宅、施設を訪問したり、施設に遊びにきてもらったりして、徐々にご本人、ご家族とコミュニケーションを取ってからサービスの利用を開始したいと考える。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ごく自然な空気があり、家庭に近い形になっていると思う。利用者、従業員の関係ではなく家族となれるようにがんばっていきたい。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	介護とは施設、ご家族が協働して行うことが理想であると伝えている。ご家族も協力的にして下さっている。		
29	利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者や家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	可能な限り支援している。ご家族との意見交換を行っている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会は必ず行っている。電話などもしてもらえるように依頼している。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の人間関係は把握している。1人で何かをするのではなく、数名で色々と行動している。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設に移られても面会に行っており、ご家族ともたまに連絡をしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>毎月のモニタリングで把握は出来ていると思う。食事のメニュー作りにも利用者の希望を必ず取り入れたり、不満があれば個別に意見を出しやすくなっている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご家族との情報収集や、ご本人との会話などから、データを取っており、個別担当者が把握するようにしている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>3ヶ月に一度のケアプラン作成時には、1名現場より担当者が出席し、話し合いを行っている。</p>	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアプランは3ヶ月ごと、モニタリングは毎月おこなっている。ケアプラン作成時は現場より1名担当者が会議に出席し、意見を反映させている。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>怪我、病気等で身体に変化があった場合は、暫定のケアプランを早急に立てる事によって、現状と計画の誤差をなくすように考えている。</p>	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録の様式を新しく作成し、把握しやすい形態になっている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>行政と話し合いを行い、共用型デイサービスの申請を試みている。又、少数ではあるが入居申し込みの方々についての介護相談を行なったことがある。</p>		<p>共用型デイサービス、空き部屋利用のショートステイの認可を取得し、地域密着型としての意味を追って行きたいと思う。</p>
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>前年度に比べ、協力できる機関や事業所は増えている。</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>他事業所、施設との連携は強固なものになっている。現状、他サービスを利用する必要性は見られなかった。</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議において、ご家族の気持ち、要望を聞いてもらっている。必要に応じ、地域包括支援センターとは協働していることが多い。</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医は基本決まってはいるが、他病院とも連携が多く見られてきた。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>精神科、歯科とは連携が強固になった。さまざまな治療に対応できるようになってきている。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>医療必要時には協力医療機関との協議、相談は行なっており、医療保険での看護師の訪問などをおこなったことがあった。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時は毎日様子を見に通院を行い、ドクターとの意見交換をおこなっている。早期退院は実現していると思う。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>運営推進会議等で、色々と話し合いをおこなったが、単独型での終末ケアに関してはかなり対応が困難であり、特養との連携を重要視している。</p>		<p>終末期にはご家族との協議が必須となってくる。又、受け入れ施設の確保に努めていかなければならない。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>施設、病院、ご家族との協議を行い、動向を決めるようにしている。どこまでできるのかのラインを作ることが重要になり、協議を繰り返している。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	ご家族や移動先の施設の方々とは色々と協議を行い、最良の方向へ進めるように努めてきた。		
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	個々にあった対応が出来ていると思う。あくまでも家族の一員であることの対応を目指している。		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	利用者それぞれの価値観や生活のリズムを把握している。決して無理にするのではなく、あくまで本人が決定するようにしている。		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者本位であることを基本として考えている。3ヶ月に一度のケアプラン作成時には本人の希望を聞くようにしている。		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	美容院等は本人の希望により外部の理容店に行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54.	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>配膳、下膳は利用者と共同で行なっている。じゃがいもの皮むきなど調理過程において手伝いもしてもらっている。</p>	
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>基本として要望を聞くようにしている。その時々 の身体状況に応じて対応をおこなっている。</p>	
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>必要最小限に抑える努力はおこなっている。重度化につれて使用が増加していることは現実。</p>	
57.	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>重度化となりほぼ介助を要する為、曜日、時間を決めてしまっているのが現状。たまにあかねの湯などの外風呂にも行っている。</p>	<p>施設内で協議し、少しでも良い方向に進めるよう、努めなければならないと思う。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>身体、精神の状況に応じて対応している。精神的に不安定で安眠が取れない場合、ご家族やドクターと協議を行い、最良の方法を考えるようにしている。</p>	
59.	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>日々の生活の中で、利用者の方々の興味を活かそうとしている。生け花や絵など自然な形でできていると思う。</p>	


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時には施設より立替を行い、本人がお金を持って買い物を楽しんでもらっている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩等は自由に出入りしている。買い物、外食、美容院等、戸外へ出掛ける回数は多くなっている。ただ利用者によって回数の差は多いと思う。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外食、外出等希望があれば機会を作っている。かなりな回数を行なえていると思う。		ご家族と一緒に外出できる機会を増やしたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状を書いたりしている。		他施設入居者の方々と文通をしてみたいと試みている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来所機会は多いと思う。自分の居室に案内され、面会の時間を過ごされている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	身体拘束の禁止は当然としてケアに取り組んでいる。よほどの理由により身体拘束と思われる行為が必要であると判断した場合はご家族に説明、協議を行い書面にて了承をいただいている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	原則として鍵は掛けないこととしているが、危険 を感じる場合、精神的に不安定な場合、外に出る 箇所はロックしている。		
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、 昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、 安全に配慮している	夜間は2時間おきの巡回を行なっている。あくま でそっと見回りをおこなっている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	一人ひとりにより状況に応じ管理を行なってい る。マッチ、ライター類については原則使用禁止 としている。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒に関して前年度は件数が多く見直さなければ ならない点が多くみられた。		危険性がある場合、車椅子の使用、手すりを付け るなど色々と工夫を行い、少しでも事故の発生を 防ぐようにしている。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全て の職員が応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行っている	訓練は年2回行なっている。		本年度は救急の資格を持った方と一緒に訓練を行 なう予定がある。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を身につ け、日頃より地域の人々の協力を得られる よう働きかけている	本年度たつの市が中心となり他施設と合同で対策 会議を行い、その内容を運営推進会議において地 域の代表の方々に聞いてもらい協力を働きかけ た。		火災においては消防署、地元消防団との連絡調整 を行なう。地震は行政のマニュアルが作成され次 第、施設のマニュアルを作成したいと考える。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>転倒、事故、急変のリスクについては何度も話し合いをさせて頂いている。可能性が高いと思われる方については事前に改めて連絡するようにしている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>変化の可能性のあるものについて、報告はすみやかにおこなわれている。余裕のある対応が出来ていると思う。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>新しい服薬が処方された時はコピーをとり職員全員が目をとすようにしている。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>排便チェックは毎日行っており、服薬だけではなく工夫を凝らして便秘予防をおこなっている。</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>食後必ずうがいをし、就寝前には義歯の洗浄、消毒をおこなっている。</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個々の能力、状態にあった対応をおこなっている。ミキサー、きざみ、おかゆなど工夫を凝らして支援している。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し実行している。インフルエンザ、ノロウイルスの診断ができた時はマニュアルどおり速やかに実行している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	週2回の買い物を行い、賞味期限が切れたものは破棄している。		中国産については現在は自粛している。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ごく普通の家の玄関になっている。花や絵などを飾り安心できる形態になっていると思う。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家改修なので環境には恵まれている。花などで季節感を出している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間、庭、テラスなど自由に行くことができる。庭に花を植え、椅子に座り鑑賞されている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者の <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいの <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> ほとんど掴んでいない
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="checkbox"/> 毎日ある <input type="checkbox"/> 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> たまにある <input type="checkbox"/> ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/> ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 数日に1回程度 <input type="checkbox"/> たまに <input type="checkbox"/> ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

他事業所との連携を強化し、行事、イベント等を充実させていきたい。